



文化・芸術が人の健康に与える
ウェルビーイングの効果について
意見交換するシンポジウム

「清流の国ぎふ」文化祭 2024
文化的処方プログラム
シンポジウム

2024 **10/16** **水**

14:30~17:00 (予定) 13:30開場
会場 | 岐阜県庁1F ミナモホール
(岐阜市藪田南2-1-1)

ファシリテーター



「清流の国ぎふ」文化祭2024 総合プロデューサー
東京藝術大学学長
日比野 克彦氏

パネリスト



東京藝術大学 社会連携センター教授
共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点
プロジェクトリーダー
伊藤 達矢氏



岐阜大学大学院教授
塩入 俊樹氏



中部学院大学人間福祉学部准教授
東京藝術大学 地域コーディネーター
水野 友有氏

入場無料
【定員350名】
※先着順。定員になり次第、
締め切らせていただきます。

**手話通訳が
あります**

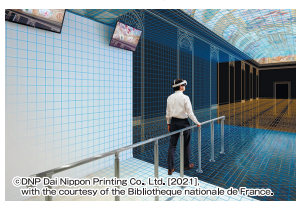


関連装置展示コーナー 場所/岐阜県庁1F ホワイエ **【申込不要・参加無料】 10:00~17:30 (予定)**

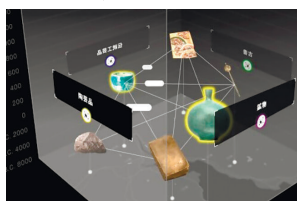
共創拠点(東京藝術大学や企業) 参画団体が開発したテクノロジーを体験



笑顔測定 (NEC)
カメラに映った人物の「笑顔度」をスコアで測定。



みどころウォーク (大日本印刷)
手ずりをたどりながら実際に移動することでVR空間内を動き回ることができる鑑賞システム。



みどころキューブ (大日本印刷)
文化財・芸術作品などについて、キューブ(立方体)状のインタフェースの中に配置し、テーマ関連性など多様な視点から紹介できる鑑賞システム。



Bubbles (東京藝術大学)
自分の影の動きで投影された映像(シャボン玉)を動かすことができる、ハイブリット影遊びの参加型メディアアート。

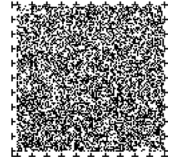


空間投影×アニメーション (東京藝術大学)
投影されたアニメーションが人の動きに合わせて、目を覚ましたり、目で追ったりする、プロジェクションマッピング。

第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024
ともに・つなぐ・みらいへ ~清流文化の創造~
2024年10月14日(月・祝)~11月24日(日)



音声コード
Uni-Voice
専用読み取り装置やスマホアプリを利用して情報を音声で聞くことができます。



パネルディスカッション 文化的処方先進の地 ～岐阜のこれまで・これから～

ファシリテーター



「清流の国ぎふ」文化祭2024 総合プロデューサー
東京藝術大学学長
日比野 克彦氏

アーティスト。
現代社会とアートを融合する表現を80年代より継続して活動。アートの更なる可能性を追求し、大学、自治体、企業との連携などを積極的に行い、「アートは生きる力」を研究、実践し続けている。現在、岐阜県美術館館長、東京藝術大学学長。「清流の国ぎふ」文化祭2024総合プロデューサー。

パネリスト



東京藝術大学 社会連携センター教授
共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点プロジェクトリーダー
伊藤 達矢氏

東京藝術大学大学院芸術学美術教育後期博士課程修了(博士号取得)。東京都美術館と東京藝術大学との連携事業である「とびらプロジェクト」(美術館を拠点にアートを介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクト)をはじめ、多様な文化プログラムの企画立案に携わる。東京藝術大学が中核となり「文化的処方」の開発と社会への実装を推進する「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」プロジェクトリーダー。共著に「こどもと大人のためのミュージアム思考」(青幻舎,2022年)、「ケアとアートの教室」(左右社,2022年)ほか。

パネリスト



岐阜大学大学院教授
塩入 俊樹氏

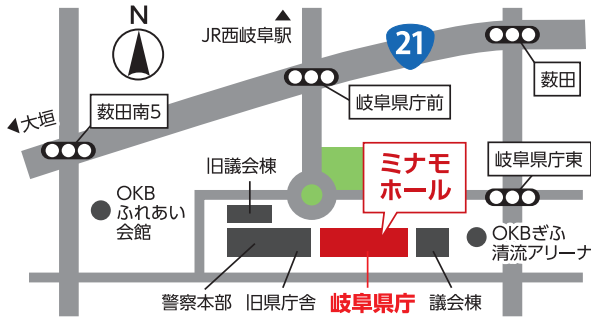
東京都で出生。
1991年 滋賀医科大学大学院卒
1991年 同大学附属病院精神科助手
1996～1998年 カリフォルニア大学アーバイン校精神医学講座に Visiting Professorとして留学
1999年 新潟大学医学部附属病院精神科講師
2000年 同大学医学部精神医学講座准教授
2008年 岐阜大学大学院医学系研究科精神医学分野教授

パネリスト



中部学院大学人間福祉学部准教授
東京藝術大学 地域コーディネーター
水野 友有氏

関市にある中部学院大学人間福祉部に所属し、社会の基準で括られる、「様々な境界線」をぼんやりさせるためにまちや現場に潜り込んでフィールドワークをしながら人間の発達を科学している。大学では障害児教育や障害児心理学を学び、大学院博士課程ではチンパンジー母子を対象に非言語的なコミュニケーション比較発達研究に取り組んできた。一応、博士(学術)。現在は、社会的マイノリティの中にごさあるポジティブな「人間らしさ」を探求することを目的に研究を進めている。旅とお酒と刺繍と共に誰かが表現したモノに触れることで、自身の価値観を揺さぶりながら一人ひとりが自分発揮できる社会を模索中である。



お越しの際は、公共交通機関の利用にご協力ください

JR西岐阜駅 (駅南側のりば) **バス** ・市橋地区「**西ぎふ・くるくるバス**」約10分「**県庁**」下車
岐阜バス「**笠松県庁線**」約10分「**県庁**」下車

JR岐阜駅/名鉄岐阜駅 **バス** ・岐阜バス「**加納島線**」約20分「**県庁**」下車

お車を **P** 庁舎周辺の来庁者駐車場をご利用ください。
ご利用の場合 なお、駐車台数には限りがありますので、ご注意ください。

お申し込み方法

【お問い合わせ先】

文化的処方プログラムシンポジウム事務局
(岐阜新聞社名古屋支社内)

☎052-251-4711
(平日/10時～18時)

①参加者氏名②ご住所③ご連絡先(電話番号、メールアドレス)④同行者氏名⑤車いす席や手話通訳希望などの配慮事項を明記の上、FAX、Eメール、応募フォーム(二次元コードを読み込んでください)、電話のいずれかでお申込みください。

✉ bunkateki@gifu-np.co.jp
FAX.052-261-5116

**応募
フォーム
はこちら**



FAX送信用記入欄

参加者氏名 必須	ふりがな	身体上の理由による配席等に関するご要望 <small>※身体上の理由により、配席等に関してご要望がある方は、お書きください。なるべく、ご要望に沿うように配慮いたしますが、会場の都合等によりご要望にお応えできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。</small>	
	ご住所 必須		
ご連絡先 必須	TEL ()	-	
	E-mail	@	
同行者氏名 <small>※同行者がいる場合は必ずご記入ください。</small>	ふりがな	ふりがな	ふりがな

●申し込み後、事務局から入場券を送付いたします。お持ちになってご来場ください。●入場券はイベント開催日の1～2週間前を目途に申込みいただいた住所に郵送します。
※個人情報、本事業の運営業務にのみ使用し、承諾なく第三者に公開することはありません。●同行者がいる場合、入場券は代表者(申込者)にまとめて送付します。